

鳥取ブランド 100品目指す

戦略会議が構想

鳥取県内外のデザイナーらで構成する「とっとりブランド戦略会議」(植木誠議長)は

8日、土産物など県東部の物産力強化を掲げた「とっとりブランド

百社百品アクション構想」を発表した。鳥取

砂丘や健康を切り口に企業と連携し、5年間で100品目の商品開発を目指す。

同会議は鳥取市の委託を受けて昨年4月に発足。デザイナーの観点から、商品開発をサポートすることを目的と

し、戦略づくりに取り組んできた。

鳥取市内で開かれた発表会では、地産地消と観光消費を念頭に、食やサービス、工芸な

どのものづくりを進める構想が示され、鳥取砂丘をモチーフにした新デザインやシンを使った食品開発計画が提案された。構想を具体化したパンやジュース

などの食品、タオル、コースターなどの試作品も関係者に披露された。会議では4月以降、

商談会などを開催し、提携企業を募る。植木議長は「知名度の高い鳥取砂丘などを活用し、物産力強化と観光産業振興を図り、クリエイターなどの雇用継続につなげたい」と語った。



戦略会議メンバーがデザインした試作品を確かめる出席者＝8日、鳥取市永楽温泉町のホテルモナーク鳥取